



TITLE:

表紙・編集後記・目次

AUTHOR(S):

---

CITATION:

表紙・編集後記・目次. 英文学評論 1987, 53

ISSUE DATE:

1987-03

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/135202>

RIGHT:

# 英文學評論

## 第 LIII 集

死体のゆくえ

——ボーア戦争詩から大戦詩へ——…………… 櫻 井 正一郎

バトン・ルージュのサラ・モーガン

——『南部同盟の娘の日記』から——…………… 中 村 紘 一

文学の言語と批評理論…………… 宮 内 弘

自意識の功罪

——ワーズワスの『ティンタン・アビー』鑑賞——…………… 藪 下 卓 郎

‘OR FRUITFULLEST VIRGINIA WHO DID EVER

VIEW?’—a discussion of English travel writing

relating to early colonization in America: 1580-1630

…………… Paul A. S. Harvey

シェイクスピア劇とローマ史の人物像

——プルタルコスを中心に—— (IX)

『コリオレーナス論』(その三)

コリオレーナスの性格…………… 木 村 輝 平

Commodity Theme and Irony in *King John* …………… Keiji Aoki

京都大学教養部英語教室

## 目次

死体のゆくえ	櫻井正一郎……………(一)
——ボア戦争詩から大戦詩へ——	
バトン・ルージュのサラ・モーガン	中村紘一……………(六八)
——『南部同盟の娘の日記』から——	
文学の言語と批評理論……………	宮内弘……………(1)
自意識の功罪	
——ワーズワスの『ティンタン・アビー』鑑賞——	藪下卓郎……………(18)
‘OR FRUITFULLEST VIRGINIA WHO DID EVER VIEW?’	
—a discussion of English travel writing relating to early	
colonization in America: 1580-1630……………	Paul A. S. Harvey……………(36)
シェイクスピア劇とローマ史の人物像	
——アルタルコスを中心に——(IX)	
『コリオレーナス論』(その三) コリオレーナスの性格……………	木村輝平……………(58)
Commodity Theme and Irony in <i>King John</i> ……………	Keiji Aoki……………(77)

## 編集後記

☆『英文学評論』第五十三集をおとどけする。この度は、沢山の原稿をお寄せ頂き、編集子にとっては嬉しいことである。執筆者の方々に厚くお礼を申し上げます。

☆この半年は、教室の人事に大きな動きがあった。一年間米国に留学しておられた福岡和子助教授は、八月二十日に帰国され、九月四日には興味ある帰朝報告をして頂いた。十月一日には神戸大学より井上健助教授が着任され、さきに帰国した外国人教師D・ヘイル氏の後任として、英国ケインブリッジからサイモン・リース氏をお迎えした。また教室は、京大創立七十周年記念後援会の基金で、オックスフォードよりポール・ハーヴィー氏をお招きし、一年間滞在して頂くことになっている。七ヶ月間ケインブリッジに留学しておられた山本利治教授は、十二月十日に帰国され、一月八日には有益なお話を聞かせて下さった。

☆次は三月三十一日付で教室を去ってゆかれる方々についてである。三年前京大にこられた加藤行夫助教授が、筑波大学に移れることになった。氏の真摯な性格が、研究の成果を大きく実らせる日を期待してやまない。また佐々部英男教授が、停年をまたぎ退職されることになった。氏は三十余年の長きにわたって教室のために尽くされてきたが、この最後の一年も主任をお引受け下さりご苦労をおかけした。ただ我々としては、ご多忙のため、本号に原稿を頂けなかったのが残念である。お二人のご多幸を心から祈る。

(編集委員 青木・水光)

## 英文学評論 第五十三集

非売品

昭和六十二年三月二十五日 印刷  
昭和六十二年三月三十一日 発行

編集者

京都大学教養部英語教室  
代表者 山本利治

印刷所

明文舎印刷株式会社  
京都市南区吉祥院池ノ内町二

発行所

京都大学教養部英語教室  
京都市左京区吉田二本松町

# REVIEW OF ENGLISH LITERATURE

Volume LIII March 1987

---

## CONTENTS

After the Burial

—A Study of the War Poetry of Hardy, Houseman,  
Brooke and Owen— ..... Shōichirō Sakurai

Sarah Morgan in Baton Rouge

—On *A Confederate Girl's Diary*— ..... Koichi Nakamura

Literary Language and Critical Theory ..... Hiromu Miyauchi

The Merits and Demerits of Self-consciousness

—An Appreciation of William Wordsworth's  
*Lines Composed a Few Miles above Tintern Abbey*—  
..... Takuro Yabushita

'OR FRUITFULLEST VIRGINIA WHO DID EVER

VIEW?'—a discussion of English travel writing  
relating to early colonization in America: 1580-1630  
..... Paul A. S. Harvey

Roman Historic Figures and Shakespeare ..... Teruhira Kimura

Commodity Theme and Irony in *King John* ..... Keiji Aoki

---

ENGLISH DEPARTMENT  
COLLEGE OF LIBERAL ARTS  
KYOTO UNIVERSITY